

No. 6 2025年 1月5日

降誕後第二主日礼拝
説教『無謀と思えた少年イエス』

司会 山根 眞三 師
神笠 千愛 さん
奏楽 白石 百合子 さん
招詞 ヨハネ第一の手紙 5:13~15
の祈 (564)
讃詠 5 4 6
交読詩 編 詩 7 2 編
祈禱 美歌 1 2 2
使徒信条 (566)
聖書 ルカ福音書 2章41~52節
説教 (口語訳87頁、新共同訳104頁)

『無謀と思えた少年イエス』

祈禱 美歌 21 - 2 7 5
聖餐式 (讃美歌21-81)
献金 謝告 栄 5 4 2
祝 禱 奏

次週の礼拝(公現後第一主日礼拝)

説教『愛する子』
マタイ福音書3章13節~17節

招詞 ローマ人への手紙 6:14、交読詩篇 2 編
讃美歌 546、123、21-346、543/ 1~12節

礼拝当番

今週 5日 司会 神笠さん 献金 高橋さん
次週 12日 司会 市川さん 献金 神笠さん

会堂清掃奉仕 1月10日(金)
午後4時~ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
★コーヒータム 礼拝後~
それぞれの思いを語り合しましょう。
★1月定例教会役員会 1月5日(日)礼拝後~
教務・教勢報告、会計報告、分区活動について
教会役員の仕事と健康を覚えてお祈り下さい。

今週の集会/スケジュール

★公現日(東方博士の日) 1月6日(月)この日は
東方の博士達が飼葉桶のイエスに見えた日
です。東方教会ではこの日がクリスマスです。
●めぐみ幼稚園三学期始業式 1月8日(水)10:00~
一年最後の学期にはいります。新しい状況で迎
える子ども達、幼稚園の歩みを覚えお祈り下さい。
●めぐみ幼稚園礼拝 1月10日(金)10:30~

次週以降のスケジュール等

★広島西分区交換講壇 1月12日(日)この日は
広島東部教会(月下星志牧師)と交換講壇の日
です。覚えてお祈り下さい。
●レコードコンサート 1月12日(日)13:00~15:30
シベリウス 交響詩『伝説(エンサガ)』作品9、
R.シュトラウス 交響詩『ドン・ファン』作品20、
ハイドン 交響曲第94番ト長調『驚愕』、
ベートーヴェン 交響曲第5番ハ短調『運命』
★白石チャリティミニコンサート 1月19日(日)
礼拝後~午後2時 白石百合子さんを中心とした
演奏家の方々によるコンサートです。
★沖縄教団と日本基督教団の合同のどらえ直しを
考える出前講座 1月26日(日)14:30~
会場 広島西部教会 広島西部教会が教区に
要望した集会ですので是非ご出席ください。

| | | | |
|-----------|---|----|----|
| 先週の集会 | 男 | 女 | 計 |
| 教会学校 | 0 | 0 | 0 |
| 主日礼拝 | 7 | 22 | 29 |
| レコードコンサート | 6 | 3 | 9 |

◇今週の説教要旨(降誕後第二主日礼拝)
『無謀と思えた少年イエス』ルカ福音書 2章41~52節
私たちにとってのクリスマスとは何だったのか。
由美子さんの葬式の時にも会堂の天井には星がさが
っていた。今日もそうだが、まだ公現日にはなっ
ていないから。東方の博士達が見たという星だから。
しかし今日私たちに示される聖書はエルサレム神殿
における少年イエスの姿、振る舞い、言葉だ。それ
らから何を示され、学ぶのかと。特に私にはそれは
強烈に迫ってくる信仰への決断と道だ。ユダヤ社会
では子どもの間はエルサレム神殿に赴かず、自分達
の日々の生活の場や会堂と称される公民館のような
場で神礼拝をし、律法の学び所謂宗教教育をしてい
た。イエスがそのような生活をとても大切にしてい
たことは、神殿での姿ややりとりで理解することが
できるだろう。そして普通は15歳とされているの
だが、ルカ福音書では12歳のイエスだ。やっとな
エルサレムにある神殿に行くことが許された。神殿に行
こうとする高揚したイエスは描かれず、神殿に居た
状況だけが報告されているのだ。ユダヤ人にとって
エルサレム神殿での数日間はとても大切な生活のは
ずなのだが、イエスの家族や同行の人々がどう行動
したかは報告されない。例年のような行動だったの
だろうか。両親はイエスが初めての神殿での行動や
興味には無関心だったのだろうか。イエスは決して
両親と同じ行動、人々が定例化した行動をすること
はしなかった。イエス独自の行動をしていたと思わ
れる。私たちの常識ではイエスのこれらの行動はと
ても無謀だと言える。イエスのこれらの行動は両親
に大変な不安を与えた。しかしイエスは両親のそん
な不安に対して、どうしてイエスが神の家にいるこ
とを心から安心できないのかと反論。十字架への道
を歩むまでは、イエスにとってエルサレム神殿は神
の家。そこでは神の臨在をしっかりと覚える家だ。
神様に委ねる、神様を信じることはもっと確定的。